

日本障害者虐待防止学会誌「障害者虐待防止研究」執筆要項

1. 原稿（原著，調査報告，実践報告）は，図，表，写真，注，文献，和文・欧文抄録を含めて，20,000 字を越えないこととします。資料は，図，表，写真，注，文献，和文（欧文）抄録を含めて 8,000 字を越えないこととします。また，調査報告，実践報告，資料については，欧文抄録を必ずしも付ける必要はありませんが，英文目次を作成する必要性から英文タイトルは必ず付けてください。

2. 原稿は，表紙，和文抄録，英文抄録，本文，投稿チェックリストをそれぞれ別の PDF ファイルにして電子メール に添付して学会事務局あてに送付してください。あわせて封筒の表に「障害者虐待防止学会誌原稿」と朱書きし，書留にて郵送してください。

原稿の体裁は，

1) 表紙に，①タイトル（和文と英文），②原稿の種類，③所属と氏名（和文と英文）（連名の場合は全員），④連絡先（筆頭者のみ，和文のみ）。

2) 和文抄録に，無記名で，⑤タイトル（和文と英文），⑥和文抄録（400 字以内），⑦キーワード（5 語以内）。

3) 英文抄録に，無記名で，⑧英文タイトル，⑨英文抄録（300 語以内），⑩英文キーワード（5 語以内）。調査報告，実践報告，資料については，英文抄録を省いても結構です。

4) 本文は，⑪和文タイトル，⑫英文タイトル，⑬本文，⑭注，⑮引用文献，⑯図，表，写真とします。本文に所属，氏名は記載しないでください。また，本文・注・引用文献頁には頁下中央部に，必ず頁番号を印字してください。

3. 提出原稿は次のとおり作成してください。

1) 本文・注・引用文献は，原則としてワードプロセッサで作成し，A4 用紙に横書き（40 字 × 40 行）で作成してください。

2) 図表は，図 1，表 1 などの番号を付け，本文とは別に 1 枚 1 点とし，それぞれ挿入箇所を本文中（ ）にて指定してください（<記載例>・・・である（表 1）。）なお，特別の作図などが必要な場合には，自己負担を求めることがあります。

4. 図表は，便宜上一律 1 点を 1,000 字に換算してください。なお，既に出版された原稿，図，表，写真の一部もしくは全部を転載する場合には，著作権の所有者より転載許可を受け，そのコピーを添付してください。

5. 文章の形式は，口語体，常用漢字を用いた新かなづかいにてお書きください。算用数字は全て半角にしてください。括弧や句読点，特殊記号は，和文中では全角を，英文中では半角で統一してください。外国語は活字体を使用し，1 字分に 2 文字を収めます。また，外来語はカタカナで，外国人名など日本語訳が定着していない学術用語などは原則として原語で記載してください。英文の場合は，ダブルスペースで作成してください。

6. 本文の見出し順位は，原則として以下のとおりとしてください。

I. II. III. ....

1. 2. 3. ....

1) 2) 3) . . .

(1) (2) (3) . . .

(a) (b) (c) . . .

① ② ③ . . .

7. 引用文献は、次のとおり記述してください。

1) 文献については、本文中に（著者の姓，西暦発行年）と表示してください。

2) 文献リストは、著者名のアルファベット順に掲載してください。ただし、共著者は 3 名までの表記とします。

3) 文献リストの記載方法は下記の例示によってください。

①雑誌の場合

著者名．（出版年）．論文タイトル．雑誌名，巻（号），開始頁 - 終了頁．

②単行本の場合

章著者名．（出版年）．章タイトル．編者名（編），書籍タイトル，版，出版社，発行地，開始頁 - 終了頁．

③翻訳書の場合

原著者名．（原書出版年 / 翻訳書出版年．翻訳者名（訳），翻訳書タイトル，版，出版社，発行地，開始頁 - 終了頁．

④ WEB ページの場合

通常の本誌情報の後に，URL か DOI を記載してください。

8. 注は、本文中の該当個所の右肩に (1) (2) (3) . . . ，と順番に番号を付し、本文の後にまとめて記載してください。

9. 投稿原稿の場合、原稿中で「筆者」「拙著」などの表現は用いず、著者名で表記してください。

10. 掲載にあたっては本誌編集方針に則って、漢字・平仮名表記の別など多少の原稿整理を行います。

11. 論文を投稿する際「投稿チェックリスト」を使用し、執筆した原稿が投稿規程や執筆要項に沿っているかを確認した上で、原稿等と一緒にリストを提出してください。（確認した場合は□にチェックを入れる）。